



「蟹工船」などで知られるプロレタリア文学作家で、治安維持法下で特高による拷問のため 29 歳で天逝した小林多喜二の母・セキの半生を描く。女性監督としては現役最高齢 84 歳の山田火砂子監督が、これまでの福祉映画路線から一転、「13 歳で自宅が丸焼けになった経験を生かし、母親がどれほど子どもを愛しているかという思いを伝えたい」と、作家の故三浦綾子さんが残した同名著書の映画化に挑む。「母—小林多喜二の母の物語」は、多喜二を理不尽な死で失い悲しみのどん底に突き落とされながらも、戦中戦後を生き抜き子どもたちに無私の愛を注ぎ続けた小林セキの生きざまに迫る。昨今の社会情勢と重なる部分もあります。ぜひご鑑賞ください。

◆上映 11月25日(土) ◆時間 午後1時～3時
 ◆場所 那覇バプテスト教会礼拝堂 入場無料(自由献金あり)

主催:那覇バプテスト教会 協賛:沖縄バプテスト連盟教育部男性会・ライフセンター那覇書店・沖縄キリスト教書店